

# スモール・モンスタース・ジャパンの運用状況

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)

追加型投信/国内/株式

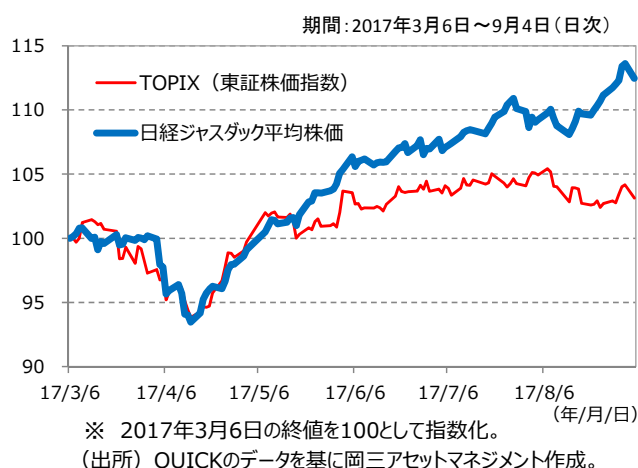
2017年9月8日

**当ファンドは、9月4日に第7期の決算を迎えました。本レポートでは、第7期（2017年3月7日～9月4日）の投資環境や運用状況、ならびに、今後の投資環境見通し等についてご報告いたします。**

## 1. 第7期の国内株式市場の動向

第7期の国内株式市場は、円高米ドル安の進行が嫌気されたことや、北朝鮮情勢の悪化など地政学リスクの高まりを受けて4月中旬にかけて下落しました。しかしその後は、海外経済や企業業績の持続的な改善期待などが支援材料となり、国内株式市場は8月上旬にかけて堅調に推移しました。期末にかけては、北朝鮮のミサイル発射実験を受けて地政学リスクが再度高まったことや、米トランプ政権の政策実行力に対する懸念などから、主力大型株の構成比が高いTOPIX(東証株価指数)は上値の重い展開となりました。一方、主力大型株を物色する動きが限られるなかで、外部環境の影響を相対的に受け難い中小型株や新興市場株が選好されたことなどから、日経ジャスダック平均株価は上昇基調が続きました【図表1】。

【図表1】国内主要株価指数の推移



## 2. 第7期の運用状況

第7期の当ファンドの運用につきましては、企業の中長期的な利益成長ポテンシャルに着目して銘柄選別を行いました。具体的には、自動車の電装化の進展に伴い、主力製品のチップマウンタ(電子部品実装機器)が民生機器向けに加え車載機器向けにも販売先が拡大すると考えられた富士機械製造や、通信インフラ向けや半導体製造装置向けにセラミック部品の販売好調が続くと考えられたMARUWAなどを買い付けました。一方、株価の上昇によりバリュエーション面での割高感が高まったと判断した黒崎播磨や山一電機などを売却しました【図表2】。

【図表2】主な売買銘柄

買付銘柄	売却銘柄
富士機械製造	黒崎播磨
ジャパンエレベーターサービスホールディングス	山一電機
MARUWA	東急建設

(期間) 2017年3月7日～9月4日

第7期末の当ファンドの基準価額は第6期末から3,207円値上がりし18,658円となりました。基準価額に対しては、じげん、山洋電気、スタートトゥデイなどがプラスに寄与した一方、日本ピラー工業、ユニゾホールディングス、そーせいグループなどがマイナスに寄与しました【図表3】。

【図表3】基準価額に寄与した主な銘柄

プラス寄与	マイナス寄与
じげん	日本ピラー工業
山洋電気	ユニゾホールディングス
スタートトゥデイ	そーせいグループ

(期間) 2017年3月7日～9月4日

※ 上記で紹介した組入銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

## 3. 今後の投資環境見通しと運用方針

国内株式市場は、良好な海外経済や企業業績拡大への期待などを背景に、堅調な展開になると考えております。ただし、米連邦準備制度理事会(FRB)の保有資産縮小による影響や地政学リスクに対する警戒感などから、短期的に値動きが荒くなる可能性があると考えられます。

当ファンドの運用につきましては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視し、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に注目して銘柄の選定を行います。引き続き、独自のビジネスモデルで成長を図っている銘柄など、中長期的な利益成長ポテンシャルが高いと考えられる銘柄を選別することで、パフォーマンスの向上を図ってまいります。

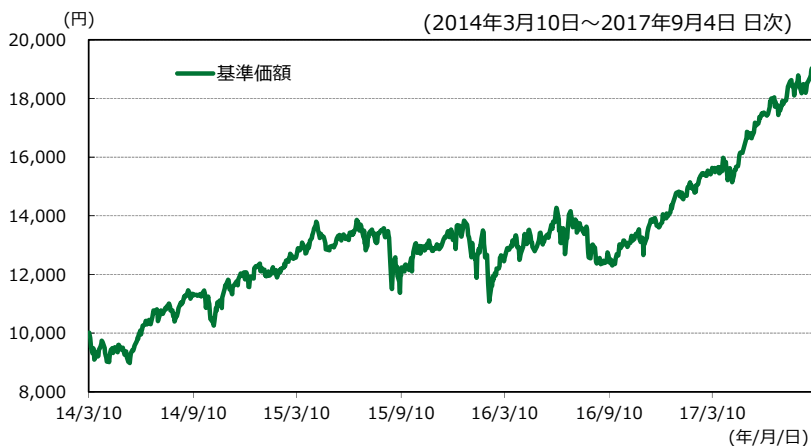
### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)  
追加型投信/国内/株式

運用状況 (作成基準日: 2017年9月4日)

設定来の基準価額の推移



※ 上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。  
 ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。  
 ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドの状況

基準価額	18,658円
純資産総額	297,554,462円
株式組入比率	95.2%
組入銘柄数	31銘柄

※基準価額は1万口当たりです。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	サービス業	21.2 %
2	小売業	12.0 %
3	情報・通信業	9.3 %
4	化学	8.6 %
5	機械	8.5 %
6	卸売業	8.2 %
7	電気機器	6.9 %
8	ガラス・土石製品	5.9 %
9	医薬品	3.1 %
10	陸運業	2.6 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	構成比
1	3679	じげん	6.4 %
2	6134	富士機械製造	5.5 %
3	6516	山洋電気	4.9 %
4	3076	あい ホールディングス	4.6 %
5	7970	信越ポリマー	4.4 %
6	6544	ジャパンエレベーターサービスホールディングス	4.2 %
7	2122	インタースペース	3.9 %
8	4680	ラウンドワン	3.7 %
9	5344	MARUWA	3.6 %
10	3360	シップヘルスケアホールディングス	3.6 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部中型株	6.5 %
東証1部小型株	63.3 %
東証2部	0.0 %
JASDAQ	4.7 %
東証マザーズ	20.7 %

※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。  
 ※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン) ファンドの特色

- ◆ 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。また、新興市場の株式に積極的に投資する場合があります。
- ◆ 株式の投資にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴のあるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、飛躍的な成長が期待される企業の株式を選別します。
- ◆ 株式の組入比率は、高位を保つことを基本とします。
- ◆ 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。



(作成: エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)  
追加型投信／国内／株式

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時  
購入時手数料：ありません。
- 換金時  
換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中  
運用管理费用（信託報酬）  
：純資産総額×年率0.918%（税抜0.85%）
  - その他費用・手数料  
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
  - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

### 販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

#### <本資料に関するお問い合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)